

HACHIMAN
Kawara-ban
HONOBONO-Tsushin

八幡堀と町家の430年の道のり

通信 八幡堀界隈 版

2017 Vol.21

知って得して、見て得して、町の歴史



近江八幡開町の祖「豊臣秀次」と「八幡商人」



【松前屋 西川傳右衛門】(仲屋町上)
西川家は元佐々木六角の家臣で永禄年間近江国蒲生郡津田村(現近江八幡市津田)に居住した市右兵衛尉吉久を祖とし、後に八幡山城下に移転、西川と姓を改めました。右兵衛尉吉久の子吉重は寛文3年(1663)死去、後妻は越後高田で四男一女がおり、長男が「西川長右衛門家」、次男が松前屋「西川傳右衛門家」同三男が「西川傳兵衛家」に四男「西川権兵衛家」に分家しています。

初代西川傳右衛門(にしかわでんえもん)、寛永4年(1627)宝永6年(1709)は、江戸時代初期、蝦夷地に進出した八幡商人。越後高田に生まれ、西川家本拠の八幡で育ち、右兵衛尉吉重の次男の傳右衛門、名は昌隆と称し、少年の頃から父にならって行商に出て、屋号は近江八幡で「松前屋」、松前(現北海道松前郡松前町)では「住吉屋」と称しました。越後を中心に荒物など家庭用品・菓子を取り扱い、利益を得てから商品を呉服太物に変え北陸地方から奥羽方面へと行商先を広げていきました。偶々、越後において蝦夷松前での行商に利があることを聞き、慶安3年(1650)蝦夷の福山(現松前町字福山)・江差(現檜山郡江差町)・箱館(現函館市)への行商を始め、上方の産物を販売した結果数年で巨利を得るに至りました。

傳右衛門は下国安芸(しもくに・あき)と云う松前藩有力者の力添えで松前に出店し、松前城下に店を出し、松前藩御用商人となります。松前藩の信用を勝ち取った傳右衛門は早々に千石船・五百石船を建造し自家の船で物産輸送を取り扱うなど一代で松前屈指の豪商になりました。漁場請負(場所請負)下国安芸より、傳右衛門自ら奥地に入り、アイヌ人と接し、寛文7年(1667)頃までに高島(現小樽市高島)・忍路(オシロ)の地を選んで漁場を開いたとされています。そのことを深く感謝し、国構えの中に「下」の字の第一画の字を記した商標(ナカイチと呼ばれている)は下国安芸への謝意を表したものとされています。

傳右衛門は順次請負漁場を改良し、出店の庶務を整理し、故郷近江に帰っては家政を修め、一代で40数度近江・蝦夷地を往復したとされています。隠居するまで毎年の交易と出店経営も自ら行い、近江八幡市の円満寺には、初代傳右衛門が奉納した千石船模型と千石船絵馬額が保存されています。元禄9年(1696)初代傳右衛門は隠居し、支配人が蝦夷地に置かれたのは漸く、二代目傳右衛門の時になってからのことで、西川家では在所である八幡と勤務地の松前とを数年ごとに往復する在所登り制度も存在しました。「子孫たるもの決して郷里に於いて田畑を購い、或は事業を起す勿れ。余財有れば必ず北海道事業振興の刷新に投ぜよ、我が家は松前にて興ル。従つて、松前にて滅ぶもすこしも悔いなし。」遺言通り西川家は三代・四代と順風満帆の隆盛を極め、三百年の近い間、北海道の開発に情熱を傾けた商家でした。

十代目当主は当時の法規で「傳右衛門」の名を襲名出来ず、「西川貞一郎」で松前での経営以外にも事業を営み、初代八幡町長にもなりました。日本初となる蟹の缶詰を開発し、大阪商船会社を発起し、八幡銀行設立に関わる等近代的企業活動を展開しました。文化面でも日牟禮八幡宮に因んだ能楽「日牟禮(ひむれもっで)」を演能披露する等才能の持主でした。十一代目「西川吉之助」は朗話学校を開設する等教育問題に力を注いだ人物です。



※参考文献 近江八幡人物伝 近江八幡郷土史会刊/八幡商人と八幡の町なみ 市立資料館会刊

クイズ

西川傳右衛門は近江八幡で育ち、松前藩御用達から漁場請負(場所請負)下国安芸の信用を得て、蝦夷地に進出し、北海道開発に情熱を傾けた八幡商人です。屋号は近江八幡で「松前屋」、松前(現北海道松前郡松前町)では「〇〇屋」と称しました。松前での屋号は何屋だったでしょう。

◆抽選で5名様

市立資料館(郷土資料館・西川家住宅・かわらミュージアム) 無料入館券
葦うどんお食事券ペアを差し上げます

ご希望の方は答え・郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上、官製はがき又はFAXで応募下さい。抽選はお送りします。(応募締切は3月5日必着)

近江八幡市大杉町30の1(有)ほのぼの館 クイズ係
TEL 0748-332-3514
FAX 0748-332-3514

当選の方は是非、ゆっくり八幡堀界隈を散策してください！

◆前回の当選者発表

おめでとうございます

中村町	S.Yさん
牧町	H.Kさん
鷹飼町	O.Aさん
出町	F.Kさん
若葉町	Y.Hさん

答え→ 安南屋

蕎麦うどん

近江八幡御向く形めぐり

2017 2/4~3/26

町なみに装うひいなのはほえみ

市立資料館 旧西川家住宅

近江八幡 左義長 まつり

国選択無形民俗文化財

平成29年 3/11(土) 12(日)

日牟禮八幡宮及びその周辺

◆パーク&バスライド実施致します

お車でお越しの方は、市役所前職員駐車場(旧市民病院跡)へ駐車し、シャトルバスをご利用ください。

料金:1台につき300円(シャトルバス利用の場合)
※駐車のみの場合料金は徴収いたしません。

後援 (公社)日本観光振興協会関西支部

お問合せ (一社)近江八幡観光物産協会 近江八幡駅北口観光案内所
TEL 0748-33-6061 URL http://www.omi8.com

当ポスターに使用している写真は第59回左義長まつり写真コンクール入賞作品等です

近江八幡市立資料館前の旧伴家住宅では左義長タシを常設展示しています。



お誕生日・記念日 花束プレゼント (3月の方) 3名様

※必ずお誕生日を明記下さい

花王アタック1キロ8個入り (1ケース) 10名様

[トマトカード番号の記入をお願いします]

- * アール・ヌーヴォーの装飾磁器 細見美術館 4月9日迄 50名様
- * 安野光雅の仕事 美術館「えき」KYOTO 3月26日迄 20名様
- * 京都芸大 美を語る スクラップブック 20名様
- * なんでもスクラップ帳 10名様

ご希望の方は郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望の品一品をご記の上、官製はがき又はFAXで下記販売所まで、ご応募下さい。抽選でお送りします。

締切

花束 2月28日迄
洗剤、チケット等 3月5日迄

当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。予めご了承ください。

近江八幡の観光スポットを訪ねてみませんか!

白雲館

はくうかん

1877(明治10年)に八幡東学校として建てられました。U・M・ヴォーリズが来日する約30年前に、地元の大工によって建てられた擬洋風建築です。近江商人が子どもの教育充実を図るために建設したもので、建設費6,000円(米1俵が1円34銭)の大半が寄付によってまかなわれました。開設当初は、約200人の児童が在籍していましたが、わずかですが女児が多かった様です。男児は奉公で江戸や大阪に出て行った者も多く男女バランスが均一ではなかったとはいえ、女性に対する教育の理解も進んでいた様です。その当時の住民達が子孫への教育に対する熱心な思いと気質を垣間みる事が出来ます。生徒数の増加のため、その需要が満たす事が出来ず、わずか1893(明治26年)15年ほどで役割を終えました。本校舎が新築され、1895(明治28年)以降は八幡町役場や蒲生郡役所などに使用され、1966(昭和41年)以降は民間所有となっていました。1992(平成4年)に近江八幡市に移管され、1994(平成6年)の解体修理によって創建時の姿に復元されました。

現在は、1階は観光案内所や喫茶コーナー等として活用され、近江八幡観光物産協会やハートランド推進財団の事務所があり、地域での映画やTVの撮影現場の写真等も展示しています。

また、2階フリースペースでは、市民ギャラリーとして各種催しが開催され、多くの方が訪れています。

1階案内所▶



日牟禮八幡宮の鳥居前に位置し、近江蒲生郡の大工・高木作右衛門による擬洋風建築です。西洋建築の目新しさを精一杯取り入れています。六角形の塔、アーチ型の窓中央のベランダなど日本建築では見る事の出来なかつた手法がちりばめられています。主屋に左右対称で翼舎をはりだし、凹字形の形態をとり、漆喰塗系の擬洋風建築で玄關上部の唐破風と屋根上に太鼓棧があります。洋風意匠の導入だけではなく伝統的な形の中からも人目を引く事を計算され、破天荒な造形意欲はその時代の熱意そのものです。

【白雲館の歴史】

- 明治10年 建築落成
- 明治26年 学校の役割を終える(本校舎新築)
- 明治28年 八幡町役場
- 明治33年 蒲生郡役所
- 大正11年 建物の一部が八幡町信用組合が使用
- 大正11年 蒲生郡役所新築移転
- 大正12年 再び八幡町役場になる
- 昭和26年 電報電話局、食料事務所八幡出張所
- 昭和41年 民間所有
- 平成4年 近江八幡市に移管
- 平成5年 修理工事着工
- 平成6年 修理工事完成(明治期の姿を復元)
- 平成10年 登録文化財

- 1階: 観光案内所 事務所
- 2階: 市民ギャラリー展示室

交通▶JR近江八幡駅から「長命寺」・「宮ヶ浜」行き近江鉄道バス「大杉町」下車
◆一般社団法人近江八幡観光物産協会
〒523-0864 近江八幡市為心町元9番地
TEL:0748-32-7003 FAX:0748-31-2393
開館時間 10:00~17:00
休館日 年末年始(12月29日~1月3日)

◆一般財団法人ハートランド推進財団
〒523-0864 近江八幡市為心町元9番地
TEL:0748-33-5510 FAX:0748-33-5697
まちづくり活動支援および助成。まちづくり活動の交流支援、開催。まちづくり活動の人材育成。まちづくりに関する情報収集・提供。その他これらの目的を達成するために必要な事業など

www.omi8.com/
www.zc.tv.ne.jp/heart/

一般財団法人 → 一般社団法人
ハートランド推進財団 近江八幡観光物産協会

〒523-0867 近江八幡市魚屋町元9 京都新聞近江八幡販売所 TEL 32-2743 FAX 32-3504

旧伴家住宅 (公益財団法人八幡教育会館)



町なみに装う
ひいなのはほえみ



商家に伝わる雛人形の数々を一堂に展示。八幡商人にとって『雛祭り』は人形の飾り付け『遊び(ままごと)道具』等を通じて商人の妻としての振る舞いや礼儀を身につける教育の場と捉えていました。

公益財団法人 八幡教育会館
(近江八幡市指定文化財 旧伴家住宅)
〒523-0871 近江八幡市新町3丁目15番地
【開館時間】 9:00~17:00(入館は16:45まで)
【入館料】 一般 ¥400 小・中学生 ¥250
団体(10人以上)… 一般 ¥350
小・中学生 ¥200
・市立資料館4館共通 一般 ¥900
小・中学校 ¥500
【休館日】 月曜日・祝祭日の翌日・年末年始
(なお、5,6月と10,11月は無休)
TEL-FAX(0748)32-1877
※お雛様期間中無休

近江八幡節句人形めぐり
2/4(土)~3/26(日)

お雛さまと楽しむ「琴の調べ」演奏:川崎社中 旧伴家住宅 3月12日(日)